

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年 2月16日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I : 該当なし

区分 II : 該当なし

区分 III : 該当なし

その他: 10 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	2月13日の地震発生により、500kV開閉所シャッター(6箇所)に変形が認められたため、当該箇所を点検・修理。 なお、シャッター周辺の機器は屋外仕様であり、シャッターからの離隔(10m程度)があることから、機器への影響はない。 また、変形により生じたシャッターの隙間を不燃シートにて塞いでいる。	GⅢ	2月14日
2	3号機	2月13日の地震発生により、主蒸気系定期検査時水張り用原子炉水位計において、「原子炉水位 高/低(定検中)」警報発生が認められたため、当該水位計を点検・修理。 なお、地震前後で原子炉水位に変化はなく、他の指示計にて監視可能であることから原子炉水位の監視に影響はない。	GⅢ	2月14日
3	3号機	2月13日の地震発生により、西側屋外に設置している外灯において、ガラスカバーの破損が認められたため、当該箇所を点検・修理。 なお、照明カバーと電球を取り外し、テープにて養生実施。 また、電源をOFFとし、雨天時等による漏電が生じないよう処置済み。	GⅢ	2月14日
4	3号機	2月13日の地震発生により、東側屋外に設置している外灯において、ガラスカバーの破損が認められたため、当該箇所を点検・修理。 なお、照明カバーと電球を取り外し、テープにて養生実施。 また、電源をOFFとし、雨天時等による漏電が生じないよう処置済み。	GⅢ	2月14日
5	4号機	2月13日の地震発生により、換気空調補機冷却系主冷凍機(B)凝縮器冷却水流量計において、「凝縮器冷却水流量高」警報発生が認められたため、当該流量計を点検・修理。 なお、冬期運用に伴い冷凍機停止中のため、換気空調補機冷却系の運転に影響はない。	GⅢ	2月13日
6	4号機	2月13日の地震発生により、換気空調補機冷却系主冷凍機(C)凝縮器冷却水流量計において、「凝縮器冷却水流量高」警報発生が認められたため、当該流量計を点検・修理。 なお、冬期運用に伴い冷凍機停止中のため、換気空調補機冷却系の運転に影響はない。	GⅢ	2月13日
7	1・2号廃棄物処理設備	廃棄物処理補機冷却海水系熱交換器(A)空気抜き弁において、シート部に漏えいが認められたため、当該弁を点検・修理。 なお、熱交換器(A)は点検中であり、熱交換器(C)を使用していることから廃棄物処理補機冷却海水系の運転に影響はない。	GⅢ	2月12日
8	1・2号廃棄物処理設備	廃棄物処理補機冷却海水系熱交換器(A)排水弁において、シート部に漏えいが認められたため、当該弁を点検・修理。 なお、熱交換器(A)は点検中であり、熱交換器(C)を使用していることから廃棄物処理補機冷却海水系の運転に影響はない。	GⅢ	2月12日
9	1・2号廃棄物処理設備	2月13日の地震発生により、廃棄物処理建屋北側玄関付近雨どいにおいて、上部配管の折損・脱落が認められたため、当該箇所を点検・修理。 なお、現状の折損・脱落の状況においても雨水は適切に排水されている状態であることから影響はない。	GⅢ	2月13日
10	3・4号廃棄物処理設備	廃棄物処理補機冷却海水系熱交換器(A)出入口圧力計装元弁において、操作ハンドルの折損が認められたため、当該弁を交換。 なお、弁棒を直接回転させることにより開閉操作は可能であるため、当該弁の開閉機能に影響はない。	GⅢ	2月15日